

個人情報情報を扱う仕事なので慎重に取り組んでいます

佐藤 佳奈 さん



さとう かなさん / 20歳 / 津別町役場勤務 / 東三条

青春

くろーずあっぷ

役場に勤めて2年目の佐藤佳奈さん。保健福祉課健康医療グループに所属し、戸籍年金を担当しています。

湧別町出身の佐藤さんは、地元の湧別高校を卒業後、同じオホーツク管内ということで津別町役場を志望しました。公務員を目指したのは、「高校の担任の先生に勧められたのがきっかけですが、小学生のときからやっている吹奏楽で、演奏会や大会出場などの際に町のお世話になったことも理由のひとつです。」

就職から1年半が過ぎ、仕事にも少しずつ慣れてきた佐藤さんですが、「個人情報扱う仕事なので、失敗は許されません。窓口では、利用する方をできる限りお待たせしないよう心がけています」と、常に緊張感を持って取り組んでいるようです。

プライベートでは、吹奏楽の経験を生かして、リコーダーサークル『RECつべつ』に参加。そして、なによりのリフレッシュは、休日に実家に帰り、お母さんの料理を食べることだとか。

温故知新

【415】

夫婦で楽しむ
パークゴルフ

土江 健二 さん
幸子 さん



どえ けんじさん / 昭和11年1月、大阪府生まれ / 76歳
どえ ゆきこさん / 昭和15年1月、津別町生まれ / 72歳 豊永在住

9月に行われた『第16回老人クラブ連合会会長杯パークゴルフ大会』で、見事に夫婦そろって優勝された土江健二さんと幸子さん。「優勝はたまたまです」と笑うお二人は、定年退職後の第二の人生を、パークゴルフで楽しく健康的に過ごしておられます。

大阪生まれの土江健二さんが家族とともに北海道陸別町に移り住んだのは昭和21年。土江さんがまだ10歳のころでした。前年の大阪大空襲で被災したことが一因で、「今でも疎開先の山間部から見た、燃えさかる大阪の街の光景は忘れられない」と語ります。

昭和27年に津別営林署に職を得た土江さんは、津別に居を移し13年間勤めます。昭和40年には丸玉産業に移り、以来定年まで勤めあげることになります。

健康いきいき

子どもの副鼻腔炎（ちくのかうけん）

子どもはよく鼻水を出していますね。そのうち自然と治ることも多いのですが、長引いている場合には少し注意が必要です。

副鼻腔炎（ちくのかうけん）とは？

鼻の横をはじめ、眉間や額の近くには骨の無い空洞があります。ここを副鼻腔といいます。風邪や鼻炎の悪化で、炎症がこの副鼻腔の粘膜にまで及んで起こるものを副鼻腔炎といいます。

どのような症状なの？

一番多い症状は、鼻づまりと鼻水です。鼻水は粘り気があり、黄色から緑色をしていることが多いです。子どもの場合は鼻づまりのために口呼吸が多くなり、集中力に欠け、機嫌が悪くなりやすい、いびき、中耳炎を伴うこともあります。

通常の風邪であれば3〜4日位で症状が改善してくるものですが、鼻づまり・粘り気のある色のついた鼻水が2週間以上続く場合には、副鼻腔炎にもかかっている可能性があります。これが3か月以上続くと、慢性の

副鼻腔炎となります。

治療方法

子どもの治療は、基本的に薬と鼻水の吸引等です。鼻をかむことも大切です。薬は抗生剤ですが、これを内服しても治りにくい例が増えていきます。それは元々、アレルギー性の鼻炎がある場合。もう一つの理由は、本来であれば抗生剤によって死滅するはずの菌が力を持ち、薬が効かなくなっている状態になっている場合です。その原因としては、鼻水が治らないからと幾つかの病院を渡り歩いてしまつと、結局同じ種類の抗生剤を長く飲んでしまい、菌がその薬に対して耐性を作ることがあげられます。違う病院にかかる時には、「どのようなお薬を、どのくらいの期間内服していたけれど治らなかつた」と次の先生にお話するようにしましょう。

暮らしを支える 税

年金再裁定により
増額受給をされる方の
税金について

年金事務所にて年金記録の訂正の申出を行い、さかのぼって年金を受給された方の所得については、さかのぼり分をもちいたその年の所得とならず、さかのぼったそれぞれの年の所得としてとり扱われます。